

そよ風



大阪市立大学
医学部附属病院

発行/大阪市立大学医学部附属病院
〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
TEL 06-6645-2711
http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/

2011年9月
第15号



Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています



市大病院に患者さんを支援する部署ができました

患者総合支援センターとは?



センター長 荒川哲男
副センター長 井内郁代

コンビニ、銀行、レストラン、劇場、よろず相談所、警察(警備)など「タウン」に必要なハード(設備)が本院にはありません。療養生活が、街で暮らすのと同じように快適であることを願い、これからは患者総合支援センターとして活動を続け、「タウン」のソフト面を支えていきます。

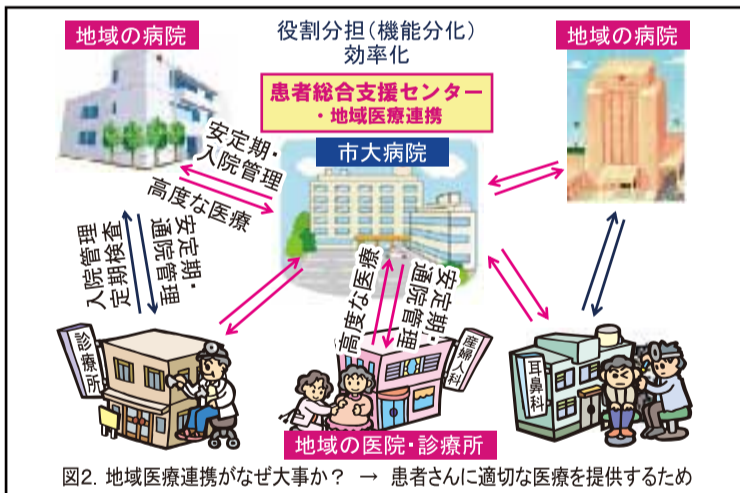
このセンターには、医師、看護師をはじめ、さまざまな役割を担うスタッフがいます。総合的に患者さんを支援する医師・看護師・事務職員以外に、患者さんの退院・転院支援や心のケアを行う社会福祉士(MSW)や臨床心理士(PSW)、また、ボランティアさんたちをリードして、イベントなど、療養生活を豊かにするさまざまな活動を行うボランティア・コーディネーター(VC)がいます。

療養生活で困ったり、悩むことがあれば、気軽にセンターにお立ち寄りください。お待ちしております。

●詳細は市大病院ホームページをご参照ください。
<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/pac/>

これまで、当院では、患者さんが療養生活を安心して送れるように、患者さんに対してさまざまな支援を行ってきました。受診案内、医療相談・がん相談などのさまざまな相談、入院退院支援、コンサートや夏祭り(マーブルフェスタ)などのイベント(図1)、医療連携(地元への紹介)(図2)などです。しかし、これらの支援業務が配置的に分散していたり、分かりにくかったりして患者さんにご迷惑をおかけしたことも多々あったかと存じます。そこで、これらの業務をセンターに集約させ、患者さんによりわかりやすく、また効率よく運用していくことになりました。

病院は「白い冷たい箱」ではなく「タウン(街)」(図1)です。



理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき市民の健康に寄与する質の高い医療を提供します
こころ豊かで信頼される医療人を育成します
医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

(大学病院の)めざすところ

基本方針

- ・患者本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療を提供します
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します

医療安全だより
～安全・安心で、みんな笑顔の病院づくり～

第9回 安全な医療機器を患者さまに提供するために



人工呼吸装置の取扱い研修

臨床工学技士という職種をご存じでしょうか? 医療現場では、診断や治療を行うために多種多様な医療機器が使用されています。これらの医療機器を常に最良な状態で安全に患者さまに使用できるように保守管理することが臨床工学技士の業務です。また、医療スタッフに医療機器に関する知識や理解を深めて安全に使用してもらうために、医療機器の仕組みや取扱い方法についての研修会を定期的開催し、医療スタッフに常に最新の情報を提供することも我々の重要な業務となっています。

そのほか、本院では人の生命に直結する医療機器についても臨床工学技士は密接に関わっています。このような医療機器は生命維持管理装置と呼ばれています。心臓の手術

の際に用いる人工心肺装置、血液を浄化するための人工透析装置をはじめ、人工呼吸装置・ペースメーカーなどが含まれます。これらは、精密機械であり取扱いが非常に難しく、特に注意が必要です。そのため、専門的な知識と技術を有する臨床工学技士が、医師・看護師らと協力しながら日々患者さまの治療にあたっております。

今後とも、患者さまが安心して当院での治療を受けていただくことができるよう日々努力し、良質な安全な医療を提供させていただきます。



人工呼吸装置の点検

訂正とお詫び

前回の医療安全だより(第8回)に掲載した写真の説明文に誤りがありましたので、訂正させていただきます。



誤: 薬剤師が無菌的に調製しています
正: 調剤師が無菌的に調製しています

読者の皆様、ならびにご関係の皆様にご迷惑をお掛けしたことを謹んでお詫び申し上げます。

診療科紹介 消化器外科

子どもの消化器外科では食道から肛門に至る消化管と肝胆膵領域の疾患の治療を行っており、手術件数は年間600件を越えています。



特にがん治療の専門病院として国内でも有数の患者数を誇っています。当科で扱っているがんは食道から肛門にいたる消化管のがんならびに肝臓がん、胆管がん、胆嚢がん、膵がん、などです。がんの治療は手術だけではなく、抗がん剤や放射線療法など他の治療法も組み合わせ、可能な限り治療成績を向上させる努力を行っています。また、患者様ご自身の病気や治療のことをしっかりと理解したうえで安心して治療を受けて頂くために患者様との対話を大切にしております。

がん以外にも良性の腫瘍や炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、食道・胃静脈瘤、脾臓疾患、食道裂孔ヘルニアなどの治療も積極的に行っており、豊富な経験を持っております。



さらに、最近では各種疾患に鏡視下手術も積極的に取り入れております。この手術は腹や胸にカメラを挿入し、テレビ画面を見ながら手術を行うため、大きな傷をつける必要がなく、患者様の負担や痛みが軽減されます。この鏡視下手術は食道がん、胃がん、大腸がん、消化管の良性腫瘍、食道裂孔ヘルニア、潰瘍性大腸炎、副腎腫瘍、脾臓摘出などで行っています。

病气や治療のことでさらに詳しいことがお知りになりたい場合は、ご遠慮なくご相談ください。



患者様の権利

- ・安全で質の高い医療を受ける権利があります
- ・自由意志に基づき治療を選択する権利があります
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利があります
- ・セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受ける権利があります
- ・人の尊厳を尊重した医療を受ける権利があります
- ・医療に関する個人情報やプライバシーが保護される権利があります
- ・健康教育を受ける権利があります

患者の皆様へのお願い

- ・あなたの健康に関する情報は、できる限り正確にお伝えください
- ・病院スタッフの説明がわかりにくい場合は、納得できるまでお聞きください
- ・診療上必要な指示や助言は、お守りください
- ・他の患者様の権利を尊重し、迷惑がかかることのないようご配慮をお願いします
- ・治験・臨床試験に、ご協力をお願いします
- ・大学病院の責務である医療人の育成と研究に、ご理解とご協力をお願いします

大阪市立大学医学部附属病院の概要

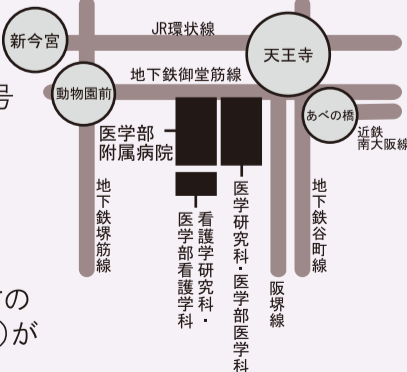
所在地 〒545-8586
大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号

電話 (06)6645-2121 (代表)

初診受付時間 午前9時～午前10時30分

休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日

※本院は、専門医療を中心に医療を提供していますので、受診するには原則、診療情報提供書(紹介状)が必要です。



医療救護班



市大病院は3月12日(土)からDMAT隊、3月20日(日)から医療救護班を派遣しておりました。以下は第4次医療救護班の西野広宣医事運営係長の日記です。

岩手県大槌町医療救護班派遣日記

3月29日。大阪から約7時間かけてようやくここに辿り着いた。休む間もなく診察を待っている患者さんたちの診察準備にとりかかる。どこに何があるかもわからない中、とにかく診察を開始。「どうされましたか。」「薬が無くなったのももらいにきた。」「ほとんどの患者さんが同じことを言っている。」「みんなながされてしまった…。」そう此処は津波で大半が流されてしまった漁師町である。



普段は設備の整った病院で診察しているが、ここでは聴診器、血圧計と血糖測定器だけで診察をしなければならない。医師にとってはすごいストレスである。来る途中で、救護班のメンバーで確認したことは「躊躇せずに救急車を呼ぼう。」である。危ないかもしれないと思ったら、病院で検査をしてもらうこと。決して手遅れにはさせない。4日間で3人を救急搬送し、そのうち1人が入院となった。他施設の救護班から引き継いだ避難所に行ったが、要観察と申し送りを受けた4人のうち2人の方が明け方に亡くなったとのことであった。自分たちの判断は間違っていないと確信した瞬間であった。

沿岸部以外は、深い山々に囲まれた地域である。手元に薬が少ないという不安感を軽減させるため、院外処方箋を被災者の代わりに釜



石市内の調剤薬局にとりに行く代行手続きをルール化した。4日目、この流れでうまくいくようにと祈りながら岩手をあとにした。

何ができるのかではなく、被災された方々のために何でも工夫してやってみよう。復興にはチャレンジ精神が必要だから。

震災復興支援メニューが登場!

市大病院災害ボランティア「なにわすまいるず」は病院6階のレストラン「パティオ」と協力して震災復興支援メニューを用意いたしました。おいしい東日本の郷土料理などの支援メニューで被災地の応援をしませんか。

震災復興支援メニュー (病院6階 宝塚ホテルレストラン 「パティオ」特別メニュー)

鮭と野菜のちゃんちゃん焼風 ¥1,100 内義援金¥200

北海道、東北地方の名物料理をパティオオリジナル、鉄板焼き風にアレンジ。

焼肉のちゃんちゃん焼風 ¥1,200 内義援金¥200

以下は15:00からのメニューです

フレンチトーストバニラアイス添え(コーヒー付き) ¥600 内義援金¥100

フローズンカシスオレンジ(ノンアルコール) ¥550 内義援金¥100

※上記メニューは9月30日までとなっております。10月からは新メニューが登場します!

病院ボランティアを募集しています

◆活動内容◆

- ・縫製&クラフト活動
- ・外来・病棟での各種イベントやワークショップ開催
- ・病院夏祭り
- ・バザーの開催
- ・演奏活動
- ・通訳(現在、主に中国語)
- ・外来案内など

◆お問合せ先◆

〒545-8586
大阪市阿倍野区旭町1-5-7
大阪市立大学医学部附属病院
ボランティアルーム
TEL/FAX: 06-6645-2694
※土日祝日除く
E-mail: volunteer@med.osaka-cu.ac.jp